

Laver, James

Le costume des Tudor à Louis XIII, comp. by James Laver.

Paris, Horizons de France, 1950. (文献番号 3-115)

レイバー監修、著

チューダー王朝からルイ13世までの服飾

本書は「チューダー王朝からルイ13世までの服飾」という総合書名を冠した6つのモノグラフから構成されており、各論文の標題と著者は次の通りである。

Le costume sous les Tudor (1485-1558) par James Laver ジェームズ・レイバー著「チューダー王朝の服飾」

Le costume en France au temps des Valois (1551-1590) par André Blum アンドレ・ブルーム著「ヴァロワ時代のフランスの服飾」

Le costume en Angleterre au temps d'Elisabeth et de Jacques Ier (1558-1625) par Graham Reynolds グラハム・レイノルズ著「エリザベス王朝からジェームズ1世までのイギリスの服飾」

Le costume Espagnol de Philippe IV (1550-1660) par Brion Reade ブリアン・リド著「フィリペ4世時代のスペインの服飾」

Le costume Hollandais au siècle d'or (1600-1660) par Frithjof van Thienen フリチヨフ・ファン・ティエネン著「オランダ黄金時代の服飾」

Le costume en France sous Henri IV et Louis XIII (1590-1643) par André Blum アンドレ・ブルーム著「アンリ4世とルイ13世時代のフランスの服飾」

各巻の著者は、それぞれの時代を専攻する欧米の服装研究者であり、監修は、ジェームズ・レイバーが当たっている。各論文は、約30頁の解説と8頁のカラー図版及び50ないし、60種のモノクロ図版からなっている。解説では、服飾史の概要、図版の注解及び文献リストが記され、後半では、絵画、肖像画、彫刻など同時代の原資料から得た図版を豊富に示している。

本書は各時代の服装画やそのモードの形成過程を主に描くということよりも、詳細な解説を記述することに力点をおいている。レイバーの序文には、これまでの研究に重要な影響を与えた研究者とその著作、文献的意義など、西洋服装研究史が簡潔に述べられている。本書のドイツ語版“Das Kostüm eine Geschichte der Mode”が1952年にミュンヘンより刊行されている。本書は当初「西欧の服装」(Costume of the western world)という36冊のモノグラフ・シリーズで計画されたが、これまで“The Tudors to Louis XIII”が刊行されただけで、他は未刊のままである。本学の研究室には英語版を所蔵しているところもある。